

7.7 水象

7.7.1 調査概要

事業計画地周辺の地下水の水位変動を把握するため、観測井戸（No. 1, No. 4, No. 5）の1時間毎の水位を自記水位計により1年間測定した。

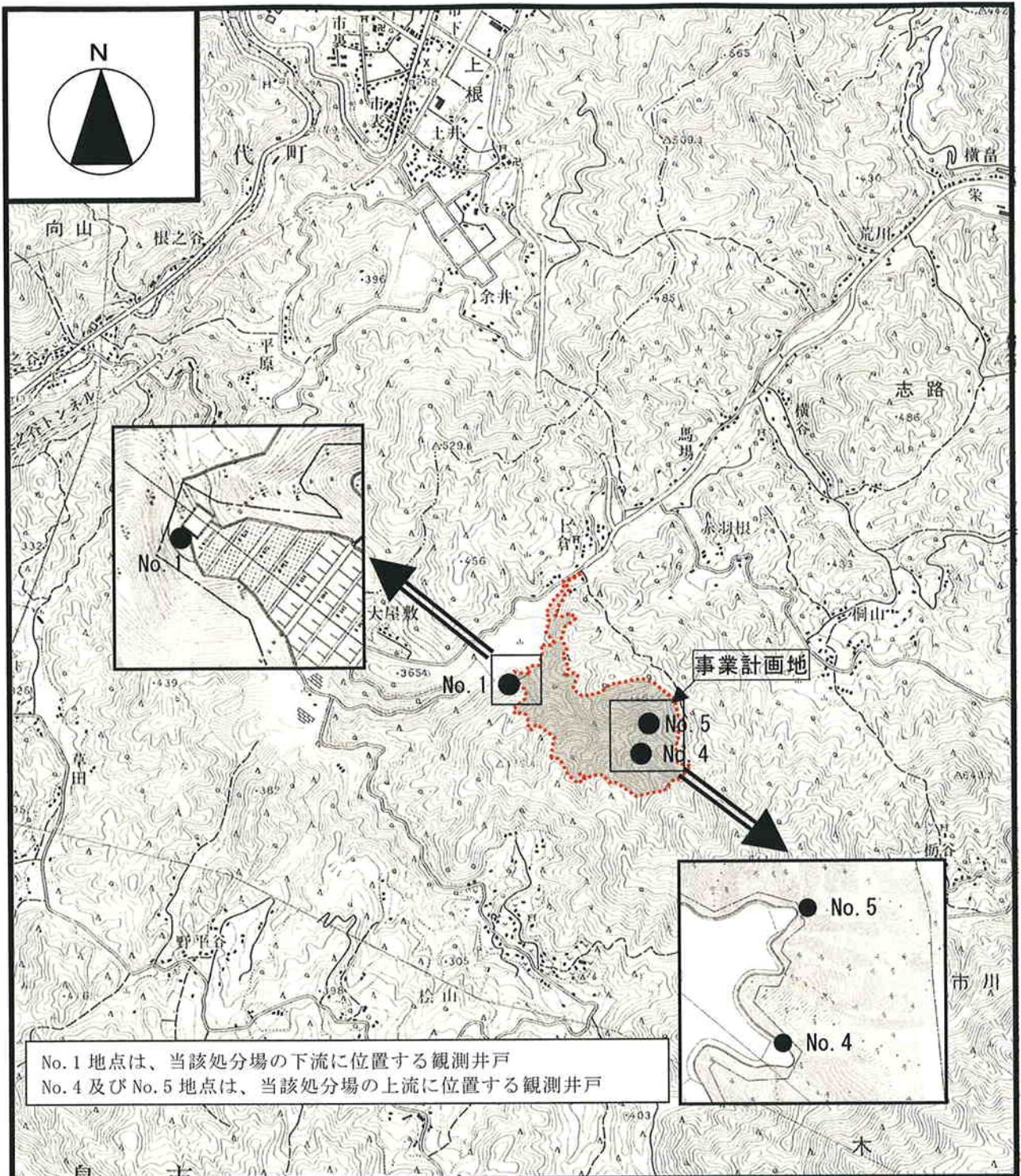
調査概要及び調査位置は、表 7-7-1 及び図 7-7-1 に示すとおりである。

表 7-7-1 水象調査概要

調査日	平成 17 年 11 月 14 日～平成 18 年 11 月 13 日（1 年間）
調査地点	観測井戸 No. 1, No. 4, No. 5 の計 3 地点（図 7-7-1 参照）
調査頻度	1 時間毎の 1 年間連続（自記水位計を用いて）

7.7.2 調査結果

調査結果は、図 7-7-2 に示すとおりである。当該処分場の下流の観測井戸 No. 1 地点では、降雨量に比例して水位の変動が認められるが、上流の観測井戸 No. 4、No. 5 地点では降雨に関係なく、水位は年間ほぼ一定水位となっている。



凡 例	
●	観測井戸調査位置



図 7-7-1 水象調査位置図

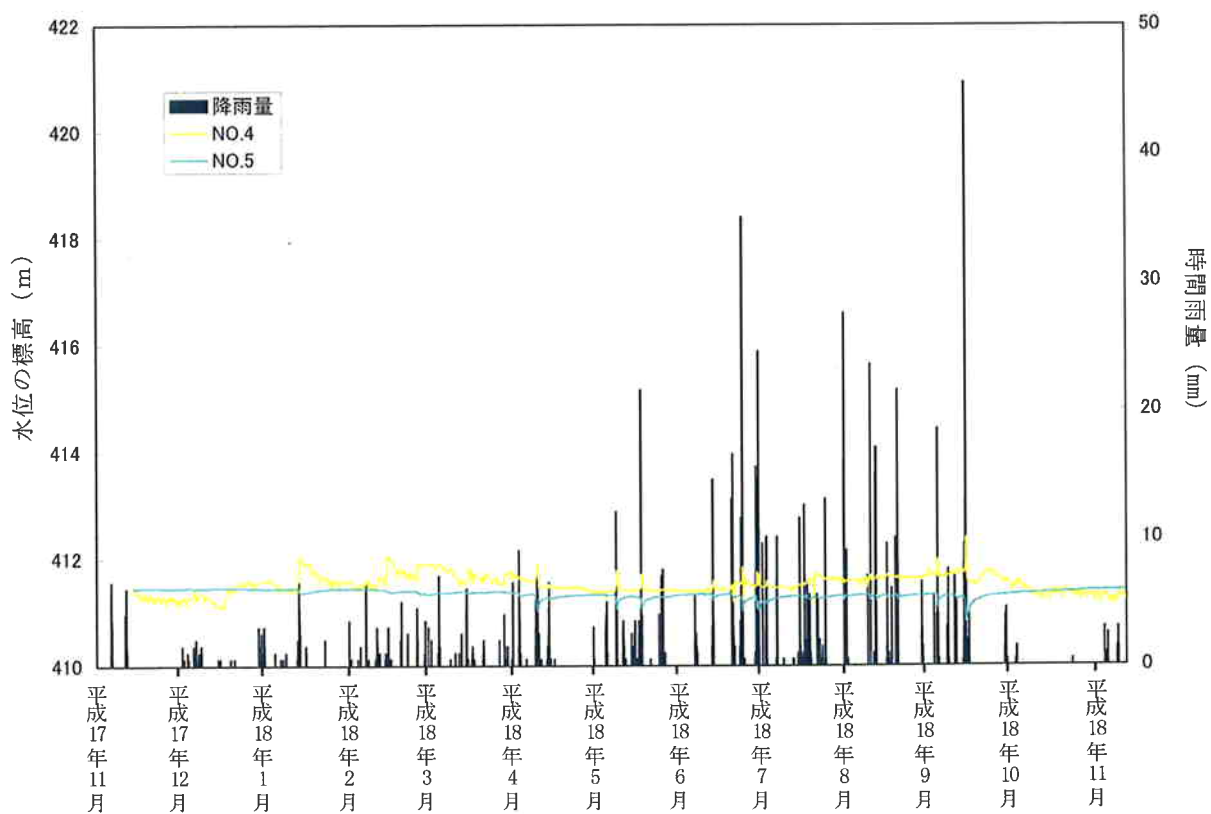
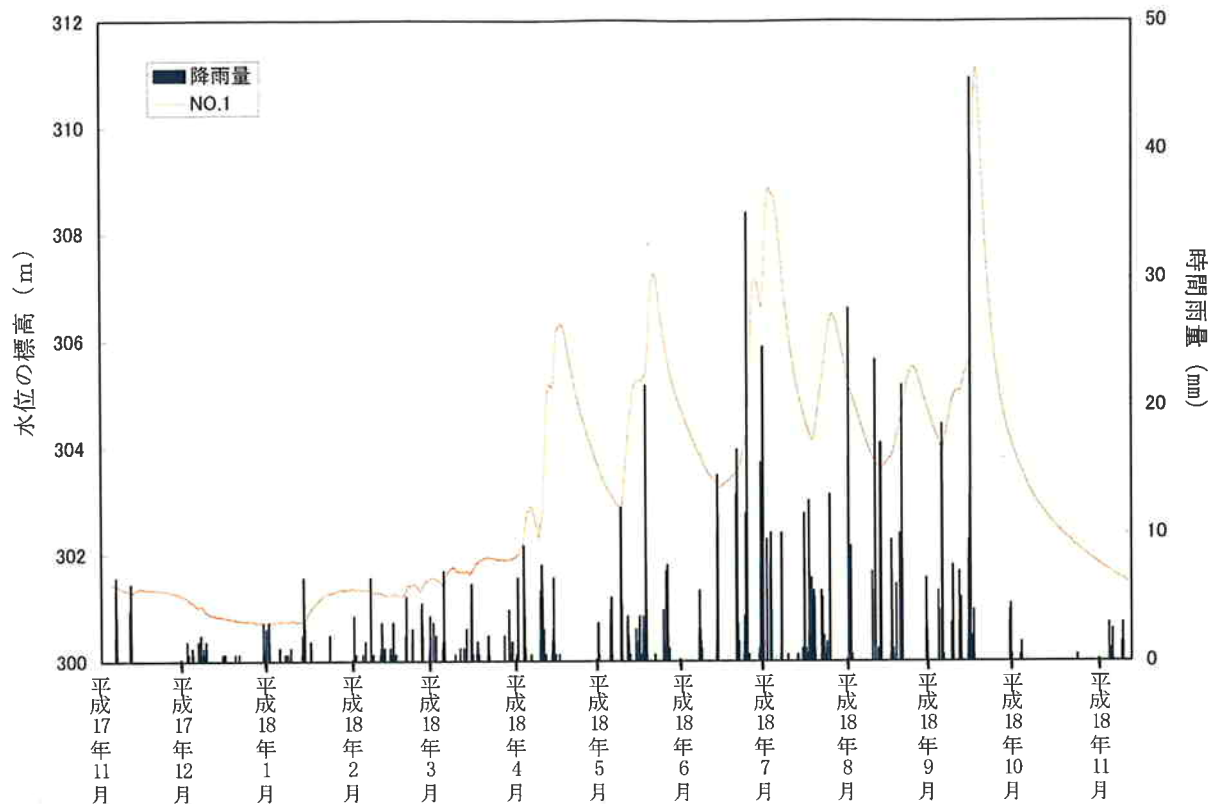


図 7-7-2 地下水の水位調査結果

7.7.3 予測及び評価

水象の予測手法の概要は、表 7-7-2 に示すとおりである。

表 7-7-2 水象の予測手法の概要

内容		予測事項	予測地域	予測時期	予測方法
工事の実施	造成等の施工による一時的な影響	地下水位	事業計画地周辺	工事期間中	現地調査結果等による定性的予測

(1) 工事の実施

① 造成等の施工による一時的な影響

ア 予測対象

造成等の施工による地下水位への影響について予測した。

イ 予測方法

当該処分場は、廃棄物の埋立ての進捗状況に合わせて、造成工事を行っているため、地下水の水位の現況調査結果を基に、地下水の水位変動に伴う影響について、定性的に予測を行った。

ウ 予測結果

当該処分場は現在稼働中であり、下流観測井戸の水位変動は、降雨によるもので、埋立て、造成等の施工による異常水位変動及び水位低下は認められないこと及び地下水脈を遮断するような構造物の設置はないことから、周辺の地下水位に及ぼす影響は小さいと予測される。

エ 評価

造成等の施工による地下水位への影響は小さいと判断されるが、地下水位は不確実性を伴うので、事後調査を行い地下水位の変動を把握していくこととする。